

## 博物館概論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと。)

1. 次の文章は、1928（昭和3）年に博物館事業促進会が発足した当時の国内外における博物館の状況を説明したものである。①～⑩の（ ）内に以下のそれぞれの語句群から最も適切な語句を選んで、文章を完成させなさい（同じ番号のところには同じ語句が入る）。（各2点）

我が国ではそれまでは、博物館関係者が各専門分野において博物館に関して論じてきたが、1928（昭和3）年に博物館界をとりまとめるべく博物館事業促進会が設立され、会誌『（ ① ）』が刊行された。なお、この会誌は現在まで続いており、（ ② ）が発行している。

この会誌の創刊号（1928年）で同会の設立趣旨が述べられているが、その中で当時の国内外における博物館の状況を以下のように記している。

欧米では、博物館は教育・（ ③ ）・美術などで盛んに利用され、文化の向上に寄与してきた。日本は欧米の制度を模範として、教育制度も欧米を模倣してきた。しかし、博物館事業のみが看過され、日本では発展してこなかった。

欧米では、博物館は（ ④ ）な物品の倉庫で（ ⑤ ）の行くところで、（ ⑥ ）は訪れない時代があった。しかし今日では、（ ⑦ ）とともに（ ⑥ ）にとっての重要な（ ⑧ ）教育機関となっている。そのため、規模を拡大、陳列様式を一変、読書室・講演室を設け、（ ⑨ ）を置いている。同時に（ ⑩ ）教育の補助機関として、（ ⑩ ）ではできない特殊教育をして効果を上げていた。

<語句群>

- |           |          |                   |
|-----------|----------|-------------------|
| ① 博物館学    | 博物館学研究   | 博物館研究             |
| ② 日本博物館協会 | 全日本博物館学会 | 日本ミュージアム・マネジメント学会 |
| ③ 芸術      | 産業       | 軍事                |
| ④ 大量      | 珍稀       | 日常的               |
| ⑤ 専門家     | 投資家      | 政治家               |
| ⑥ 一般民衆    | 子ども      | 学芸員               |

⑦ 公民館	劇場	図書館
⑧ 社会	学校	大学
⑨ 館長	説明員	学芸員
⑩ 社会	学校	大学

2. 次の文章は、国際博覧会（万博）と博物館との関わりについて説明したものである。①～⑤の（ ）内に、の中から最も適切な語句を選んで文章を完成させなさい。（各4点）

国際博覧会条約によれば、国際博覧会とは「公衆の教育を主たる目的とする催し」で、人類の進歩や将来の展望を示すために開かれる。このはじまりは1851（嘉永4）年の「第1回ロンドン万国博覧会」である。

日本では（ ① ）が著した『西洋事情』によって国際博覧会が本格的に紹介されるようになった。日本政府としてはじめて公式参加をしたのは1873（明治6）年開催の（ ② ）万博である。この万博への参加準備のために全国各地から特産物が収集された。1872（明治5）年にその一部が（ ③ ）で展示され、この時が東京国立博物館の創立と位置付けられている。

はじめて日本を会場としたのは1970（昭和45）年に大阪で開催された日本万国博覧会である。この時のテーマは「（ ④ ）」である。同会の閉幕後、会場は万博記念公園として整備され、この敷地の一部に（ ⑤ ）が設置された。

2025（令和7）年開催予定の大阪・関西万博は日本国内を会場とした6回目の国際博覧会である。

湯島聖堂 上野公園 大学南校 ロンドン パリ ウィーン 町田久成 久米邦武 福沢諭吉 国立国際美術館 国立歴史民俗博物館 国立民族学博物館 いのち輝く未来社会のデザイン 人類の進歩と調和 自然の叡智
---

3. 日本の公立博物館における外部資金の調達方法について、以下の3つの語句をすべて使って200字以内で説明しなさい。なお、指定した3つの語句にはアンダーラインを引きなさい。（20点）

<使用する語句>

来館者、使命、博物館法

4. 2022（令和4）年に ICOM 博物館定義は次に掲げるとおり改正された。これを参照しながら、ICOM とは何かを解説すると共に、改正による博物館の新定義の特徴を 200 字以内で説明しなさい。なお、アルファベット表記にあたり 2 文字で 1 文字分とし、数字表記も 2 桁で 1 文字分とする（例 ICOM は 2 文字分、数字も 2022 は 2 文字分とする）。（20 点）

#### 2022（令和4）年改正後の ICOM 博物館定義

博物館は、有形及び無形の遺産を研究、収集、保存、解釈、展示する、社会のための非営利の常設機関である。博物館は一般に公開され、誰もが利用でき、包摂的であって、多様性と持続可能性を育む。倫理的かつ専門性をもってコミュニケーションを図り、コミュニティの参加とともに博物館は活動し、教育、楽しみ、省察と知識共有のための様々な経験を提供する。

#### 2022（令和4）年改正前の ICOM 博物館定義

博物館とは、社会とその発展に貢献するため、有形、無形の人類の遺産とその環境を、教育、研究、楽しみを目的として収集、保存、調査研究、普及、展示する公衆に開かれた非営利の常設機関である。

※ICOM 日本委員会訳による

5. 日本博物館協会編・発行『令和元年度日本の博物館総合調査報告書』（2020 年）の 197 頁には、全国の博物館に対する調査結果として、自館にあてはまる課題の一覧が掲出されている。この中、2013（平成 25）年度と 2019（令和元）年度に同じ質問を行い、2013（平成 25）年度調査時よりも割合が増えた項目上位 3 点をまとめたのが次の表である。これに基づき、現在の博物館が抱える課題とその解決に向けた方向性について 200 字以内で論じなさい。（20 点）

表

割合が増えた 項目の順位	自館の課題としてあてはまる項目
1 位	必要な資料整理が進んでいない
2 位	施設設備が老朽化
3 位	高齢者・身障者への対応が不十分